



よむよむ

こんげつ えいが ほん しょうかい おな ものがたり ことば ひょうげん ほん えいぞう
今月は映画にもなった本を紹介しします。同じ物語でも言葉で表現する本と映像や
おんがく ひょうげん えいが み たの
音楽で表現する映画では、どちらがうのか？見くらべて楽しんでみてください。



□□パパのしごとはわるものです□□

Eば いたばしまさひろ ふん よしだひさのり え
板橋雅弘・文 吉田尚令・絵

えいが だimei
映画の題名『パパのしごとはわるものです』

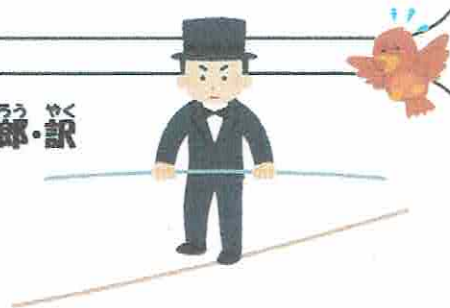


しゅじんこう おとこ こ とう しら しゅくだい
主人公の男の子は「お父さんのしごとを調べる」という宿題のため、しごとに出かけるパパ
にこっそりついていきます。たどりついた先はプロレス会場。リングの上にいるのは、もしかして…？

□□綱渡りの男□□

Eつ もーていかい・がーすていん・さく かわもとさぶろう やく
モーティカイ・ガースティン・作 川本三郎・訳

えいが だimei
映画の題名『ザ・ウォーク』



ほんとう はなし ねんだいどうげいにん
これは本当にあったお話です。1974年大道芸人のフィリップは、マンハッタンにそびえ
た せかい ぼうえき あいだ つなわた
立つ世界貿易センターのツインタワーの間にロープをはり、綱渡りをしたい！とひらめきま
した。ちじょう たか つなわた む ぼう ちやうせん はじ
地上400メートルの高さで綱渡りをするという無謀な挑戦の始まりです。

□□床下の小人たち□□

メアリー・ノートン・著

えいが だimei か
映画の題名『借りぐらしのアリエッティ』



たいちよう こびと にんげん もの すこ か いえ
体長10センチほどの小人であるアリエッティは、人間の物を少しだけ借りながら、家の
ゆかした かぞく す にんげん
床下に家族とこっそり住んでいます。人間にはぜったいに見つかってははいけません。ところ
がある日、アリエッティは家の男の子に見つかってしまい…。

